

平成27年12月18日  
西日本高速道路株式会社

## 平成28年3月期 中間決算概要

### 1. 連結決算概要（経営成績）

(単位:億円)

区分	H27年度 上期実績	H26年度 上期実績	増減	H27年度 通期見込 ※2	H26年度 通期実績	増減
営業収益	4,306	4,134	171	8,909	10,120	▲1,211
高速道路事業	4,040	3,902	138	8,357	9,615	▲1,257
料金収入	3,752	3,609	143	7,357	7,181	175
道路資産完成高	275	279	▲4	972	2,400	▲1,428
その他	12	13	▲1	27	32	▲5
関連事業	265	232	32	551	504	46
SA・PA事業 ※3	177	169	7	339	327	12
その他の事業 ※4	88	63	25	211	177	34
営業費用	4,166	4,086	80	8,865	10,064	▲1,199
高速道路事業	3,934	3,876	57	8,366	9,606	▲1,240
道路資産賃借料	2,666	2,623	43	5,285	5,210	75
道路資産完成原価	275	279	▲4	972	2,400	▲1,428
管理費用	992	974	17	2,108	1,995	112
関連事業	231	209	22	498	458	40
SA・PA事業 ※3	143	140	3	287	277	9
その他の事業 ※4	87	68	19	211	180	31
営業利益	139	48	91	43	55	▲11
高速道路事業	106	25	80	▲8	8	▲17
関連事業	33	23	10	52	46	6
経常利益	150	57	92	70	79	▲9
中間(当期)純利益 ※5	77	24	52	41	30	10

※1 当社グループは、当社及び連結子会社26社、持分法適用の関連会社等7社で構成されており、高速道路事業、SA・PA事業、その他の事業を行っています。

※2 「通期見込」欄は、将来見通し、計画の基となる前提、予測を含んで記載しており、実際の業績は今後、様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

※3 「SA・PA事業」とは、高速道路のサービスエリア(SA)・パーキングエリア(PA)における飲食・物販及びその不動産を賃貸する等の事業をいいます。

※4 「その他の事業」とは、受託事業、駐車場事業、トラックターミナル事業、コンサルティング事業及び収益還元事業等の事業をいいます。

※5 「中間(当期)純利益」には、親会社株主に帰属する中間(当期)純利益を記載しています。

※6 億円未満は切り捨てて表示しています。以下、同様です。

※文中の丸囲み番号は、1ページの表に記載の番号と対応しています。

## 2. 高速道路事業トピックス

### (1) 平成27年度上期の実績

- 当社管内の高速道路の通行台数は、前年同期比2.0%増の279万台/日となり、料金収入は、前年同期比143億円増の3,752億円となりました。…①
- 独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構(以下「高速道路機構」といいます。)に対する道路資産賃借料は、料金収入の増加に伴い、前年同期比43億円増の2,666億円となりました。…④
- 管理費用は、道路保全点検の推進などにより、前年同期比17億円増の992億円となりました。…⑥
- 以上のことなどから、高速道路事業の営業利益は、前年同期比80億円増の106億円となりました。…⑦
- 道路資産完成高は、中国自動車道<sup>ゆめさき</sup>夢前スマートインターチェンジの完成などがあり、前年同期並みの275億円となりました。…②  
なお、道路建設にかかった経費と同額の債務を高速道路機構に引き渡すため、道路資産完成高は道路資産完成原価と同額となり、道路建設から利益や損失は発生しません。…⑤

### (2) 平成27年度通期の見込

- 通期における料金収入は、上期と同様に増加する見込みですが、下期は微増にとどまる見込み<sup>\*</sup>です。…⑨  
一方、道路保全点検や舗装補修費などの管理費用の増加(⑪)を見込んでいる<sup>\*</sup>ため、高速道路事業の営業利益は、前期比17億円減の▲8億円となる見込みです。…⑫
- 通期における道路資産完成高は、前期と比べ新規開通箇所が少ないことから、前期比1,428億円減の972億円を見込んでいます。…⑩

※ 高速道路事業における季節的変動については、3ページの「4. 決算値の季節的変動」をご覧ください。

※文中の丸囲み番号は、1ページの表に記載の番号と対応しています。

### 3. 関連事業トピックス

#### (1) 平成27年度上期の実績

- 営業収益は、SA・PA事業において、通行台数の増加を受け前年同期比で微増となったほか、その他の事業においても、受託事業の営業収益が、国及び地方公共団体から受託した工事の進捗などにより増加したことから、全体で前年同期比 32 億円増の 265 億円となりました。…③
- 関連事業の営業利益は、前年同期比 10 億円増の 33 億円となりました。…⑧

#### (2) 平成27年度通期の見込

- 通期における関連事業の営業利益は、前期比 6 億円増の 52 億円を見込んでいます。…⑬

### 4. 決算値の季節的変動

- 高速道路の料金収入は、上期が下期に比べ気候が良いことや長期休暇が多いことなどから、上期が多くなる傾向があります。  
一方、管理費用は、冬期における交通を確保するための雪氷対策などにより、上期よりも下期が多くなる傾向があります。  
このため、上期と下期の業績には次のような季節的変動が生じ、結果として上期と下期の営業利益を比較した場合、上期の値が大きくなる傾向にあります。

(単位:億円)

区分	上期実績	下期見込 ※	H27年度 通期見込 ※	上期比率
営業収益	4,306	4,602	8,909	48.3%
高速道路事業	4,040	4,316	8,357	48.3%
うち料金収入	3,752	3,604	7,357	51.0%
関連事業	265	286	551	48.1%
営業費用	4,166	4,698	8,865	47.0%
高速道路事業	3,934	4,431	8,366	47.0%
うち管理費用	992	1,115	2,108	47.1%
関連事業	231	266	498	46.5%
営業利益	139	▲95	43	318.8%
高速道路事業	106	▲115	▲8	-
関連事業	33	19	52	63.6%

※ 「下期見込」及び「通期見込」欄は、将来見通し、計画の基となる前提、予測を含んで記載しており、実際の業績は今後、様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

## 【参考】 個別決算概要（経営成績）

（単位：億円）

区分	H27年度 上期実績	H26年度 上期実績	H27年度 通期見込 ※	H26年度 通期実績
営業収益	4,135	3,974	8,567	9,795
高速道路事業	4,033	3,893	8,341	9,591
料金収入	3,753	3,609	7,359	7,183
道路資産完成高	275	279	972	2,400
その他	4	4	9	6
関連事業	102	81	225	204
SA・PA事業	52	52	105	105
その他の事業	49	28	120	98
営業費用	4,015	3,936	8,569	9,786
高速道路事業	3,922	3,863	8,359	9,599
道路資産賃借料	2,666	2,623	5,285	5,210
道路資産完成原価	275	279	972	2,400
管理費用	980	960	2,101	1,988
関連事業	93	73	210	186
SA・PA事業	39	38	81	78
その他の事業	53	34	129	107
営業利益	120	37	▲1	8
高速道路事業	110	30	▲17	▲8
関連事業	9	7	15	17
経常利益	141	56	31	37
中間(当期)純利益	77	27	22	4

※ 「通期見込」欄は、将来見通し、計画の基となる前提、予測を含んで記載しており、実際の業績は今後、様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。